

# 第4次晴れの国おかやま生き生きプラン(仮称)

## 骨子案

令和6(2024)年7月

岡山県

# 目 次

第1章 基本的な考え方	1
1 県政の基本目標	
2 プランの性格等	
3 プラン推進の基本姿勢	
第2章 長期構想（岡山の将来像）	2
1 2040年代半ばを見据えた潮流と課題	
2 岡山の個性と優位性	
3 2040年代半ばの目指すべき岡山の姿	
4 地域別構想	
第3章 行動計画	5
<b>重点戦略Ⅰ 結婚・子育ての希望がかなう社会の実現</b>	6
1 出会い・結婚応援プログラム	
2 妊娠・出産・子育て支援プログラム	
3 子育てと仕事の両立支援プログラム	
<b>重点戦略Ⅱ 夢を育む教育県岡山の推進</b>	8
1 学ぶ力育成プログラム	
2 徳育・体育推進プログラム	
3 多様な教育ニーズ支援プログラム	
4 グローバル人材育成プログラム	
<b>重点戦略Ⅲ 地域を支える産業の振興</b>	10
1 企業誘致・投資促進プログラム	
2 企業の「稼ぐ力」強化プログラム	
3 観光振興プログラム	
4 儲かる農林水産業加速化プログラム	
5 働く人応援プログラム	

- 1 保健医療充実プログラム
- 2 福祉サービス推進プログラム
- 3 子ども・若者支援プログラム
- 4 防災対策強化プログラム
- 5 暮らしの安全推進プログラム
- 6 持続可能な中山間地域等形成プログラム
- 7 快適な環境保全プログラム
- 8 脱炭素化推進プログラム
- 9 生きがい・元気づくり支援プログラム
- 10 情報発信力強化プログラム

# 第1章 基本的な考え方

## 1 県政の基本目標

すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現を、引き続き県政の基本目標とします。

## 2 プランの性格等

県政の最上位に位置付けられる総合的な計画とし、将来の目指すべき岡山の姿を描く長期構想と、その実現に向けた行動計画という2つの性格を併せ持つものとします。

### (1) 長期構想

岡山の将来像について、高齢者人口（65歳以上）がピークを過ぎ、年少人口（14歳以下）、生産年齢人口（15歳～64歳）のいずれも減少するとともに、現在生まれた世代が20代を迎える2040年代半ばを展望します。

### (2) 行動計画

長期構想の実現に向けて重点的に取り組む戦略や施策を盛り込みます。

- <重点戦略>
- I 結婚・子育ての希望がかなう社会の実現
  - II 夢を育む教育県岡山の推進
  - III 地域を支える産業の振興
  - IV 安心して豊かさが実感できる地域の創造

<計画期間> 令和7(2025)年度から令和10(2028)年度までの4年間

## 3 プラン推進の基本姿勢

プランの推進に当たっては、「顧客重視」、「コスト意識」、「スピード感」の3つの視点を持ち、さまざまな主体の参画、市町村等との連携・協働を基調に施策を展開するとともに、施策の成果を検証し、見直しと改善を加え、効率的、効果的な県政運営を行います。

### (1) 顧客重視の視点に立った県政の推進

県民ニーズ等の的確な把握、戦略的な情報発信の推進、行政のDXの推進等

### (2) さまざまな主体との連携・協働

市町村との連携強化、ボランティア・NPO等との連携・協働等

### (3) 時代の要請に応える政策推進

部局横断型の政策決定、職員の育成、コスト意識の徹底、SDGs、PDCAサイクル等

## 第2章 長期構想（岡山の将来像）

### 1 2040年代半ばを見据えた潮流と課題

岡山に到来する新たな時代の潮流と変化を前向きに受け止め、「生き生き岡山」の実現を図るため、県民と共有する課題について整理します。

- (1) さらなる人口減少社会・超高齢社会の到来  
将来の人口推計、中山間地域や離島を取り巻く状況等
- (2) 激甚化・頻発化する自然災害  
平成30年7月豪雨災害の教訓、自助・共助・公助による将来を見据えた災害対応等
- (3) 感染症のリスクと社会経済活動の両立  
新型コロナウイルス感染症の教訓、新興感染症への備え等
- (4) デジタル技術の進展と人材育成  
生成A Iや5 Gなどを活用する公共サービスの維持・強化、デジタル技術を活用できる人材育成等
- (5) カーボンニュートラルの実現  
今後の気候変動の影響、2050年温室効果ガス排出ゼロに向けた取組等
- (6) グローバル化のさらなる進展  
ひと・ものの流動性の高まり、地球規模の課題解決への積極的な取組等

### 2 岡山の個性と優位性

本県のさらなる発展を図るため、岡山の個性やこれまで築き上げてきた優位性（拠点性、気候、自然環境、地震頻度の少なさ、教育環境、産業集積、観光資源、農林水産物、医療環境、福祉、文化・スポーツ等）について整理します。

### 3 2040年代半ばの目指すべき岡山の姿

将来にわたって活力ある社会を持続していくにあたり、本県の人口ビジョンを見据えながら、現在生まれた世代が20代を迎える2040年代半ばの目指すべき岡山の姿を、4つの重点戦略の視点から示します。

#### ○結婚・子育ての希望がかなう社会の実現

- ・場所にとらわれない柔軟な働き方や、誰もが能力に応じて活躍できる働く場所が確保され、若い世代の安定した暮らしの基盤が築かれ、人口の流出には歯止めがかかっています。
- ・結婚等に対する個人の意見や自由な選択が尊重される社会の中で、若い世代が結婚や子育てを前向きに捉え、それぞれの希望をかなえています。
- ・社会全体で子育てを応援する気運が醸成されており、希望する数の子どもを持ち、安心して子育てできる環境が実現されています。
- ・企業等による従業員の子育て支援が充実し、男女ともに、育児休業制度等を活用しながら子育てと仕事を両立しています。

#### ○夢を育む教育県岡山の推進

- ・各学校は、先端技術の活用や地域との連携を図りながら、子どもたちの資質・能力を伸ばしています。
- ・地域が世界と直接つながる時代の中で、グローバルな視点を持って豊かな地域社会の創造・発展に積極的に貢献しようとする志を持った子どもたちが育っています。

#### ○地域を支える産業の振興

- ・東京一極集中の是正などにより交通・物流インフラ整備等がさらに発展するとともに、デジタル技術など成長分野への投資も進み、グローバル競争で優位に立つ技術力・生産性を誇っています。
- ・リスクに対応できる柔軟で強靱な産業構造が構築され、中長期的な成長が可能となっています。

#### ○安心して豊かさが実感できる地域の創造

- ・活力ある高齢者や多様な主体が地域社会の担い手として活躍しています。
- ・リモートサービスの発達により、誰もが生活ニーズを満たすことができます。
- ・感染症の流行や大規模災害の発生時にも県民の命を守る体制を構築しています。
- ・経済と環境が両立する取組を通じて、2050年カーボンニュートラルの実現が目前です。
- ・高齢、障害、生活困窮、虐待、女性・子どもを取り巻く環境の変化など、多様化、複雑化、複合化する課題やニーズへの包括的な支援体制が整っています。

## 4 地域別構想

県南都市部においては、人口減少が進む地域が見られるようになり、今後さらなる加速化が予測されています。中山間地域においては、農山村の諸機能の弱体化や地域コミュニティの崩壊などさまざまな課題があります。

「生き生き岡山」の実現に向けては、総合的な行政の推進に努めている備前・備中・美作の各地域が、地域住民や基礎自治体である市町村との密接な連携の下、それぞれの特性や資源を活用しながら、課題の解決を図りつつ、個性と魅力にあふれる豊かな地域づくりを進めることが必要となります。

このため、備前・備中・美作の各地域ごとに、地域の将来の姿を描くとともに、その実現に向けた政策展開の方向性を示します。

### <備前地域>

#### ○将来の姿

活力あふれ、明るく笑顔で暮らせる備前地域

#### ○政策展開の方向性

- ・備前地域を売り込む産業の振興  
備前焼等の地域産品の認知度向上、桃、ぶどう、晴苺などの供給力強化等
- ・安心して豊かさが実感できる備前地域の創造  
河川改修・河道内整備等の推進、子育てを応援する地域づくり等

### <備中地域>

#### ○将来の姿

夢と元気にあふれ、安全・安心で暮らしやすい備中地域

#### ○政策展開の方向性

- ・備中地域ならではの産業モデルの構築  
水島コンビナート等の拠点性向上、観光素材を生かした周遊・滞在型観光の推進等
- ・備中地域ならではの地域モデルの構築  
災害時の「共助」の環境整備、連携と交流による中山間地域や離島の振興等

### <美作地域>

#### ○将来の姿

魅力と活力にあふれ、安心して生き生きと暮らせる美作地域

#### ○政策展開の方向性

- ・美作地域の資源を生かした産業の振興  
農林業・地域産業の振興、自然体験など滞在型広域観光の推進等
- ・人々が支え合い生き生きと暮らせる「美作国」  
医療・介護提供体制の整備、自立的な地域づくりの促進、基盤整備等

## 第3章 行動計画

4つの重点戦略の下に、22の戦略プログラムを掲げ、関連する指標と施策を配置します。

各戦略プログラムには、令和10(2028)年度までの計画期間中に達成しようとする目標値として「生き生き指標」を設定します。

### 【行動計画の構成】

#### **重点戦略Ⅰ 結婚・子育ての希望がかなう社会の実現【新】**

- 1 出会い・結婚応援プログラム
- 2 妊娠・出産・子育て支援プログラム
- 3 子育てと仕事の両立支援プログラム

#### **重点戦略Ⅱ 夢を育む教育県岡山の推進**

- 1 学ぶ力育成プログラム
- 2 徳育・体育推進プログラム
- 3 多様な教育ニーズ支援プログラム【新】
- 4 グローバル人材育成プログラム

#### **重点戦略Ⅲ 地域を支える産業の振興**

- 1 企業誘致・投資促進プログラム
- 2 企業の「稼ぐ力」強化プログラム
- 3 観光振興プログラム
- 4 儲かる農林水産業加速化プログラム
- 5 働く人応援プログラム

#### **重点戦略Ⅳ 安心して豊かさが実感できる地域の創造**

- 1 保健医療充実プログラム
- 2 福祉サービス推進プログラム
- 3 子ども・若者支援プログラム【新】
- 4 防災対策強化プログラム
- 5 暮らしの安全推進プログラム
- 6 持続可能な中山間地域等形成プログラム
- 7 快適な環境保全プログラム
- 8 脱炭素化推進プログラム【新】
- 9 生きがい・元気づくり支援プログラム
- 10 情報発信力強化プログラム



# 重点戦略Ⅰ 結婚・子育ての希望がかなう社会の実現

## 1 出会い・結婚応援プログラム

少子化の現状は厳しさを増しており、未婚化・晩婚化の進行が要因の一つとされる中、未婚者が結婚の希望や意向を持っているものの、結婚できそうにない理由として、「結婚したいと思う相手と出会いそうにない」が最も多いことや、仕事等との両立についての不安も挙げられていることなどから、希望や理想の実現に向けた出会い・結婚支援を重点的に進める必要があります。

### 主な生き生き指標例

- 婚姻率【新】
- おかやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数

### 主な施策例

- 社会全体で出会い、結婚を応援する気運の醸成【組替】
- 結婚の希望をかなえる環境の整備

## 2 妊娠・出産・子育て支援プログラム

合計特殊出生率は低下傾向、出生数は減少傾向と、核家族や共働き家庭の増加もみられる中、希望する子ども数と実際に持てると思う子ども数に差が生じていることや、核家族化の進行等による「孤立した育児」も課題とされていることなどから、妊娠・出産にかかる相談・医療体制等の整備や、地域ぐるみでの子育て家庭への支援など、各ステージに応じた支援に取り組む必要があります。

### 主な生き生き指標例

- 合計特殊出生率
- 出生数【新】
- 妊娠・出産について満足している母親の割合
- 妊娠と年齢の関係について正しく知っている県民の割合

### 主な施策例

- 子育てにやさしい社会づくり【組替】
- 地域ぐるみの子育て支援【組替】
- 切れ目のない母子保健等の強化【組替】
- 妊娠・出産に関する正しい知識の普及と相談体制の充実【組替】

### 3 子育てと仕事の両立支援プログラム

共働き家庭が増加する中、依然として家事や育児の負担が女性に偏在する傾向にあることへの指摘や、地域によって保育士不足が厳しさを増していることなどから、男女ともにキャリアをあきらめることなく子育てと両立できる働きやすい職場環境づくりの推進や、保育人材の確保に向けた取組を進める必要があります。

#### 主な生き生き指標例

- おかやま子育て応援宣言企業「アドバンス企業」認定数
- 14日以上の男性の育児休業取得率【新】
- 保育士・保育所支援センターが関わった保育所等への就職者数

#### 主な施策例

- 企業等による子育て支援の取組の促進【組替】
- 男性の育児休業取得促進に向けた環境の整備【組替】
- 男女がともに協力して子育てをする意識の醸成【組替】
- 保育人材の確保・定着と職場環境の改善【組替】

## 重点戦略Ⅱ 夢を育む教育県岡山の推進

### 1 学ぶ力育成プログラム

将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合が伸び悩む中、子どもたちが主体的に学び、社会課題の解決につながる新たな価値や行動を生み出すことができるよう、夢や目標の実現に向けて、子どもたちに学ぶ意義を実感させるとともに、学ぶ意欲を高め、自己実現を図るために必要となる学ぶ力を確実に育成する必要があります。

#### 主な生き生き指標例

- 「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合
- 全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差
- 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合【新】
- インターンシップや企業訪問等を体験した高校生の割合

#### 主な施策例

- 教師の授業力の向上
- PBL（課題解決型学習）の推進【新】
- キャリア教育の推進

### 2 徳育・体育推進プログラム

非行率の大幅な減少、暴力行為の発生割合が全国平均よりも低い状況にある中、子どもたちが、将来、社会の一員として活躍できるよう、さまざまな活動を通じて主体的に社会の形成に参画する態度や生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、若年期から精神面、身体面の充実を図る必要があります。

#### 主な生き生き指標例

- 「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童生徒の割合
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童生徒の割合【新】
- 「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合

#### 主な施策例

- 道徳教育の推進
- より良い社会づくりに参画する人材の育成
- 子どもたちの体力の向上

### 3 多様な教育ニーズ支援プログラム

生徒数の減少、学校の小規模化や統廃合が進む中、不登校出現割合が全国と同様近年特に増加傾向にあることなどから、全ての子どもたちにとって、学校が安全・安心な場所であるとともに、誰一人取り残されない学びを実現できるよう、学校における指導の改善・充実や学校外での学びの場づくりを推進する必要があります。

#### 主な生き生き指標例

- 「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の割合【新】
- 小・中・高等学校における児童生徒1千人当たりの新規不登校児童生徒数の全国平均との比較値（全国平均を100とした場合の本県の比較値）【新】
- 小・中・高等学校における不登校児童生徒のうち学校内外の専門機関等で相談・支援を受けた児童生徒の割合【新】

#### 主な施策例

- 魅力ある学校づくりの推進【組替】
- 「チーム学校」による不登校等の早期支援【組替】
- 不登校児童生徒等の学びの場の確保【新】

### 4 グローバル人材育成プログラム

グローバル化が進展する中、自らの郷土や国の伝統・文化を大切にする心を持ち、豊かな語学力・コミュニケーション能力や、異文化を理解する精神等を有するとともに、膨大な情報から、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値や行動を生み出すことのできる人材を育成する必要があります。

#### 主な生き生き指標例

- 県内大学等及び高校からの海外留学者数
- 全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生の参加者数

#### 主な施策例

- 国際的に活躍できる人材の育成
- 探究・STEAM教育の推進【組替】

## 重点戦略Ⅲ 地域を支える産業の振興

### 1 企業誘致・投資促進プログラム

国内外のコロナ対策の影響や地政学的リスクの増大に伴う輸出入の不安定化などを背景に、企業の主要拠点の国内回帰や競争力強化に向けた投資が進む中、企業の地方移転や支店等の新規開設等、企業ニーズに合った産業用地の確保や、既立地企業における新技術等の開発や生産性の向上に向けた取組を進める必要があります。

#### 主な生き生き指標例

- 新規立地企業等の投資額
- 新規立地企業等の雇用創出数
- 水島工業地帯における新規立地企業等の投資額【新】
- 主要渋滞箇所における対策実施箇所数【新】

#### 主な施策例

- 戦略的誘致施策の推進【組替】
- 県内への国内拠点設置の促進
- 水島コンビナートの国際競争力強化
- 交通基盤整備

### 2 企業の「稼ぐ力」強化プログラム

生産年齢人口の減少や国内市場の縮小、経営者の高齢化や後継者不在による廃業の増加が懸念される中、中小企業・小規模事業者には、生産性の向上やデジタル化、市場の変化に応じた販路開拓や、円滑な事業承継等に取り組む必要があります。

#### 主な生き生き指標例

- 経営革新に取り組む中小企業・小規模事業者数
- 従業員1人当たり売上高（生産性向上指標）
- 企業と大学との共同研究センターにおける産学連携等に向けたマッチング支援件数
- あっせん・サポート等による取引成立件数
- 県等の創業資金を活用した事業者数【新】

#### 主な施策例

- 企業の持続的な成長・発展支援
- 時代の変化に対応するイノベーションの推進
- 地域特性を生かしたマーケティング戦略の展開
- 地域に活力をもたらす新ビジネスの創出支援

### 3 観光振興プログラム

コロナ禍を経て観光需要が堅調に回復する中、持続可能な観光地づくりに向け、データに基づくマーケティングや付加価値の高いコンテンツ・サービスの提供を推進し、観光客の満足度と観光産業の収益力の向上の両立に取り組むとともに、インバウンドの地方部への誘客拡大に向けた取組を強化する必要があります。

#### 主な生き生き指標例

- 観光消費額
- 観光入込客数
- 訪日外国人旅行消費額【新】
- 外国人延べ宿泊者数
- 岡山桃太郎空港の国際線利用者数

#### 主な施策例

- 滞在型観光の推進
- 国・地域の特性を踏まえたインバウンド戦略の展開【組替】
- 航空ネットワークの拡充と岡山桃太郎空港の利便性向上【組替】

### 4 儲かる農林水産業加速化プログラム

人口減少による国内市場の縮小や労働力不足、飼料や肥料の価格高騰などの国際情勢の影響による生産活動の低下が懸念される中、本県の有する優れた人材や高い技術力、恵まれた自然環境などの優位性を最大限生かしながら、生産性の向上や国内外での販路拡大を図り、農林水産業を将来にわたり成長し続ける、魅力ある産業とする必要があります。

#### 主な生き生き指標例

- 農林水産業産出額
- 県産果物の首都圏及び関西圏販売金額、輸出金額【新】
- 桃、ぶどう、晴苺の栽培面積【新】
- 認定農業者の法人数【新】

#### 主な施策例

- マーケティングの強化とブランディングの推進
- 海外でのブランド確立による輸出拡大
- 桃、ぶどう、晴苺の供給力の強化【組替】
- 次代を担う力強い担い手の確保・育成
- 生産性の高い農業の推進

## 5 働く人応援プログラム

人口減少や高齢化の進行、さらには、東京圏など都市部への人口の流出にも歯止めがかかっていない中、本県の経済を維持・発展させていくためには、企業が求める人材の還流と定着を進めるとともに、性別や年齢などにかかわらず誰もが能力を十分に発揮できる多様で柔軟な働き方や、企業等のそれぞれの状況に応じた働きやすい職場づくりの取組を支援していく必要があります。

### 主な生き生き指標例

- 県内大学新卒者の県内就職率
- 本県出身の県外大学新卒者のUターン就職率
- 勤務間インターバル制度の導入率【新】
- 管理職における女性比率（民間企業）【新】
- 専門的知識・技術を有する外国人労働者数【新】
- 70歳以上まで働ける企業割合【新】

### 主な施策例

- 若者の県内定着を進める就職支援
- 県内企業の発展を担う人材の還流・定着の支援
- 意欲や能力に応じて活躍できる働き方の推進
- 男女の均等な雇用機会等の確保と女性の活躍推進
- 外国人材の活躍支援
- 高年齢者の就業支援【組替】

## 重点戦略Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造

### 1 保健医療充実プログラム

高齢化が進む中、生活習慣病等により生活の質の維持が困難な人の増加が懸念されます。また、すべての県民が、質の高い医療・介護サービスを必要に応じて受けることができるよう、医療の機能分化と連携のさらなる推進、医療人材の確保・育成、医療ニーズの変化やデジタル技術の進展に対応した医療提供体制の改革を進めるとともに、新たな感染症への備えを強化する必要があります。

#### 主な生き生き指標例

- 県内の医師不足地域の医療機関に勤務する地域卒卒業医師数
- 病院（精神科病院を除く）・内科診療所のうち在宅療養支援病院・診療所の数の割合【新】
- 20歳以上の者の喫煙率
- 子宮頸がんの予防法について正しく知っている県民の割合
- 感染症に関する訓練・研修会への参加人数

#### 主な施策例

- 地域医療を支える医療従事者の育成・確保
- 人口減少・高齢化に対応した医療提供体制の整備【組替】
- 心と体の健康づくりの推進
- 感染症対策の強化

### 2 福祉サービス推進プログラム

2040年に高齢者人口がピークを迎えるとされ、高齢、障害、生活困窮、女性・子どもを取り巻く環境の変化など、個々人の抱える課題やニーズが多様化、複雑化、複合化する中、包括的な相談支援の窓口整備や支援体制の充実・強化、認知症施策、個々の障害特性に応じた支援など、それぞれの課題に対応したきめ細かな取組の一層の推進を図る必要があります。

#### 主な生き生き指標例

- 介護予防のための通いの場への参加率
- 「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言」登録数
- 障害福祉サービス利用者の一般就労への移行者数

#### 主な施策例

- 地域包括ケアシステムの深化・推進【組替】
- 福祉・介護の人材確保とサービスの質の向上
- 障害のある人の自立と社会参加の促進



### 3 子ども・若者支援プログラム

子ども・若者を取り巻く社会情勢が変化し、地域とのつながりが希薄になる中、貧困や虐待、いじめ、不登校、ニート、ひきこもりなど、困難な状況にある子ども・若者やその家庭が孤立することなく、必要な支援を受けられるよう、相談支援体制の充実・強化や社会全体で支える取組を一層推進していく必要があります。

#### 主な生き生き指標例

- こども家庭センターの設置市町村数【新】
- 中途退学者等への自立支援を通じた進路決定者数【新】

#### 主な施策例

- 子どもと家族を見守り支える地域づくり【組替】
- 困難な状況にある子ども・若者への支援【組替】

### 4 防災対策強化プログラム

南海トラフ地震などの大規模地震や、地球温暖化に伴う気候変動等による風水害の激甚化・頻発化が懸念される中、県土の強靱化を進めるとともに、県民の防災意識をさらに高め、市町村、自主防災組織、事業者等と連携した地域防災力の充実強化を図る必要があります。さらに、発災後には被災者が一日も早く日常を取り戻せるよう、多様な主体と連携しながら、早期の復旧・復興を図る必要があります。

#### 主な生き生き指標例

- ハザードマップの確認を行っている県民の割合
- 自主防災組織率
- 県内外の被災地に派遣できる「チームおかやま」の数
- スマホアプリ等を通じて防災情報を入手する県民の割合
- 特に重要な緊急輸送道路上の橋梁の耐震化率
- 河道内整備の実施延長

#### 主な施策例

- 自らの命は自らが守る取組の促進
- 互いに助け合う地域の防災力の充実強化
- 県民の命を守る災害対応力の充実強化【組替】
- 防災施設の整備や公共施設等の耐震化の推進【組替】

## 5 暮らしの安全推進プログラム

特殊詐欺の悪質・巧妙化、高齢者人口の増加、地域ぐるみの見守り活動の担い手不足など、治安を取り巻く状況が変化中、県民一人ひとりの防犯意識の向上や、サイバー事案等の新たな犯罪への対応等を通じて、治安の改善を着実に進める必要があります。

### 主な生き生き指標例

- 刑法犯認知件数
- 殺人、強盗等の重要犯罪検挙率
- 人身交通事故件数

### 主な施策例

- 犯罪抑止対策の推進
- 捜査の高度化・科学化等の推進による犯罪の徹底検挙
- 交通事故防止対策の推進

## 6 持続可能な中山間地域等形成プログラム

人口減少や高齢化の急速な進行による地域活動の担い手不足など、将来にわたる集落機能の維持・確保が厳しい状況にある中、複数の集落が連携した集落機能の維持や、地域内外の多様な主体の協力の下、地域の将来像を見据えて地域住民が互いに支え合う仕組みづくりを推進するとともに、価値観や働き方の多様化を踏まえ、地域づくりの担い手確保にもつながるよう県外から人を呼び込む取組を強化する必要があります。

### 主な生き生き指標例

- 集落生活圏を維持するための小さな拠点の形成数
- 地域づくりの活動計画等を策定している地域運営組織（RMO）の数【新】
- 地域おこし協力隊退任後に県内に定住した人数【新】
- 移住支援制度の利用者数【新】
- シカ・イノシシの捕獲数
- 地域のニーズに応じた交通サービスを導入した件数【新】

### 主な施策例

- 生き生き拠点（小さな拠点）の形成促進
- 集落機能の維持・強化【組替】
- 多様な主体の活躍による持続可能な中山間地域等の形成促進
- 移住・定住の促進
- 農作物等の鳥獣被害防止対策の推進
- 地域公共交通ネットワークの活性化【組替】

## 7 快適な環境保全プログラム

産業構造や生活様式の変化に伴う環境問題の多様化、とりわけ、海洋プラスチックごみの削減や生物多様性の保全など、地球規模の環境問題は、国際的にも関心が高まる中、海ごみ対策や3Rの推進などによる循環型社会の形成、生物多様性が確保された豊かな自然環境の保全など、あらゆる主体との連携により環境保全を進めていく必要があります。

### 主な生き生き指標例

- 海ごみ削減キャンペーン等によるごみの回収量【新】
- 少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替えの面積
- 国際水準以上の有機農業の取組面積【新】
- 放置艇の隻数【新】

### 主な施策例

- 海ごみ対策の推進【組替】
- 花粉の飛散の低減に向けた取組の加速
- みどりの食料システム戦略の推進【新】
- 秩序ある水辺空間の創出【新】

## 8 脱炭素化推進プログラム

脱炭素社会の実現を目指す気運が高まる中、県民、事業者、行政といった各主体が、気候変動の影響に対する危機感を共有し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、それぞれの役割に応じた対策を積極的に実践し、一丸となって脱炭素につながる取組を進める必要があります。

### 主な生き生き指標例

- 岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の対象となる事業所の温室効果ガス排出量【新】
- 電気自動車等の普及台数

### 主な施策例

- 温室効果ガスの削減に向けた取組等の推進【組替】
- EV等の普及拡大【新】

## 9 生きがい・元気づくり支援プログラム

社会構造の変化や、グローバル化の進展等により、社会の多様化がますます進んでいくことが想定される中、市町村、関係団体、地域住民等と連携し、広く県民が、文化やスポーツに親しみ、実践することができるような環境づくりを進めることにより、地域の一体感や活力を醸成する地域づくりに取り組む必要があります。

### 主な生き生き指標例

- 文化芸術に関わった（自ら実践・直接鑑賞した）人の割合【新】
- 県内で行われたスポーツ大会やスポーツの試合を観戦した人の割合【新】
- 成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合

### 主な施策例

- 文化とスポーツの力を活用した地域の活性化
- 生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進

## 10 情報発信力強化プログラム

スマートフォンの定着により、個人がいつでも気軽に情報発信する社会において、多くの情報があふれる中であっても、本県の発信する情報が埋もれることなくしっかりと受け手に届くよう、媒体、時期、ターゲット等を適切に選定するとともに、伝え方に工夫を凝らした情報発信を行う必要があります。

### 主な生き生き指標例

- 全国における本県の認知度【新】
- 県の働きかけによる首都圏等テレビ露出の広告換算額
- 県のSNSフォロワー等の数
- 県が発信した情報について「わかりやすい」と回答した人の割合【新】

### 主な施策例

- 強みを生かしたイメージアップ戦略の推進【組替】
- 首都圏アンテナショップを拠点とした岡山の魅力発信
- SNS等による魅力発信の推進
- わかりやすい県政情報の発信【新】